

平成29年 4月22日

助成事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人 ひょうたん島.....

代表者・役職名 氏名.....代表理事 樋代景子.....



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

障がいがあるけど・・・「私にだってできる！」 地域で自立した生活を送るために

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2005年4月重症心身障がい児者の保護者5名で、子どもたちの余暇・放課後活動の場の確保・保護者の休養と就業の保証、親亡き後も生まれ育った地域で生活していける場の確保、を目標に立ち上げた任意団体で、2014年NPO法人を申請 現在会員は18名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

放課後に行く場がなかった子どもや、週末の活動の場を提供できたことで、多くの体験をすることができた。立てなくても座れなくても、見えなくてもきこえなくても・・・いろいろなことを体験し・感じ、その小さな積み重ねが1年たつと成果としてあらわれてきています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 放課後・余暇活動(水曜日・土曜日)
 2. 日中時間預かり
 3. 居宅介護事業
- 上記活動の継続と今よりの充実

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

1. 放課後活動(水曜日)の参加者が2名増え、余暇活動(土曜日)が定期的に行えるようになり、充実が図れた。
2. 日中時間預かり事業を始められ、利用もはじまった。
3. 居宅介護事業では、ヘルパー以外に、かかわってくれている学生3名が、重度訪問介護の研修を受けてくれて、内容の充実が図れた。(29年度4月以降も2名受講してくれる予定)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

購入予定だったものが値段が変わってしまったため再検討が必要になり、体験などから購入内容を講師とも再検討しスヌーズレン用具にしました。

届くまでに時間がかかってしまい、年度末になってしまいました。再検討しただけあって、子どもたちの反応はとてもよく、今後はじめていく喫茶店においても癒しのグッズとして活用できるので、成果は十分にみられると思われ

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

